

■ 定期点検 ～点検のタイミング:通常時～

【取組概要】

定期点検は、簡易点検で把握し難い構造物の劣化・損傷等を把握し、今後の対策を決定するために、原則5年に1回実施する点検である。本試行では、UAVの有用性を確認するため、庄原市内の川北川において、UAVを活用した定期点検を行った。調査の結果、本堰堤周辺は、立木が多くUAVによる近接撮影が困難な範囲があり、1回のフライト(20分)で全景や概ねの定点撮影及び変状の有無を把握できたものの、近接目視による補足調査(80分)を要し、総点検時間の短縮には至らなかった。

【期待される効果】

アクセス困難な場所においても、安全に定点撮影や変状把握のための撮影を把握することができ、点検における安全性の向上が図られる。

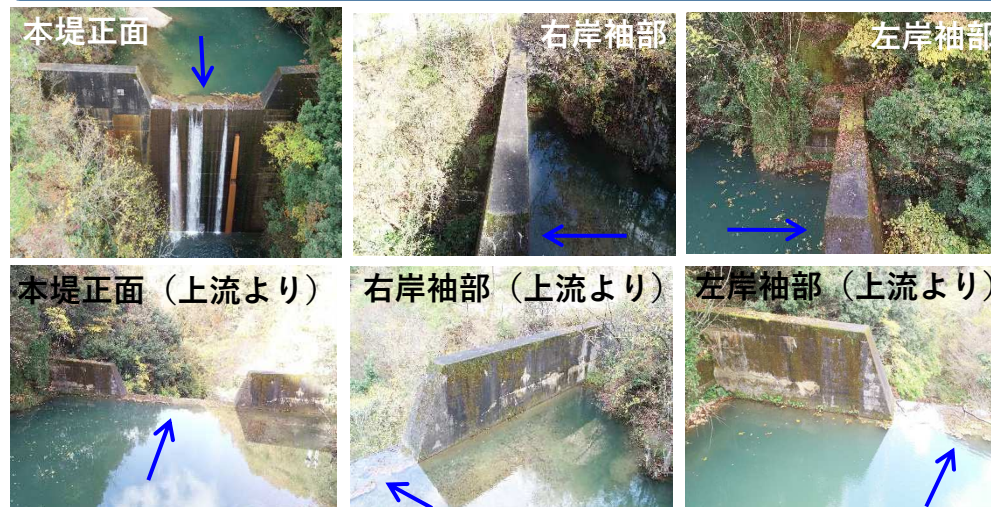
■ UAVを活用した定期点検(試行)

離発着地点から、UAVを手動で操作し、定点からの静止画撮影、経年比較部位の撮影を行うことにより施設の損傷状況等を把握

【試行点検日:令和3年11月4日】



■ 定点撮影結果【手動操作, 対地20m】



■ 経年比較部位の撮影結果【手動操作, 対地10m】

